

校長のつぶやき

校長室便り 第46号

令和2年1月9日 山内

○今野龍太先輩来校 一心身鍛え抜かれたアスリートー

始業式1月8日(水)午後、蘇武麻衣子先生が校長室に声を弾ませ満面の笑顔でやってきました。麻衣子先生の教え子でもある、今野龍太投手が、仙台から東京に赴く前に母校に挨拶に行きたいとのこと。しかも、その日の夕方4時ごろ。「校長先生よろしいでしょうか。ご家族も一緒だそうです。」良いも悪いも、楽しみにしていますと伝えてもらいました。

90周年式典の朝、11月14日に報道されたように、今野龍太投手は楽天イーグルスから戦力外通告され、活躍の場を東京ヤクルトスワローズに移すことになりました。式辞の中でもそのことに触れました。校長のつぶやきでそのことを知った、宇和島牛鬼保存会の楠葉さんは、11月17日秋季練習中の松山まで今野先輩を応援に駆けつけてくれました。5月18日のプロ入り初勝利の時も、新聞の切り抜きを校長室のボードに貼りました。会えたならどれを話そうなどと考えているうちに、初対面の時がやってきました。ピッタリ夕方4時。校長室。

勝負師の中にも優しさが感じられる顔立ちとはテレビや新聞で何度も見ていましたが、実際に言葉を交わし、握手してみると。腕、胸板、脚、鍛え抜かれたアスリートの身体でした。岩高の同級生だった奥様と生後7ヶ月になる息子さんと一家で校長室に来てくれました。怪我による育成契約や今回の戦力外通告等プロの厳しい世界で揉まれていて、まだ20代半ばなのに相当苦労していて、守るべき人もできてか、年齢以上にしっかりした方でした。

同席した嶺岸教頭先生とは、息子さんが中学校野球部の後輩だったようで、本当に懐かしそうに、親しく話をしていました。この日も仙台でトレーニングを積んできていて、慣れない東京ですが、プロ初勝利の時にバッテリーを組んでいた嶋捕手も一緒に移籍することがとても心強いと言っていました。ひとつひとつの言葉から「決心」や「覚悟」が伝わってきました。心も鍛えられた本物のアスリートでした。

今回の移籍騒ぎがなければ、90周年記念式典や全校集会で講師として後輩達に話をしてほしいと思ったので、今年の秋こそは、後輩達にエールを送って欲しいとお願いをしました。

校長室の後は、恩師の矢内先生・美由紀先生や野球部の後輩達が待つ職員室で親交を深めたようです。「Swallows 今野龍太 #69」といただいたサインは事務室前のガラスケースに飾りたいと思います。Swallowですから、今回の困難も呑み込んで、見返してください。岩高の誇りです。みんなで今野先輩を応援しましょう。頑張れ今野龍太投手。ではこれで今回のつぶやきはお終いです。

「活躍を彷彿させる来校は 困難呑み込みツバメ返し」

